

スキッドリフト 500kg

取扱説明書

【品番】 SL-500

- この度は、KIKAIYA「スキッドリフト 500kg」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- * この取扱説明書は、商品の正しい使い方やメンテナンス方法、使用上の注意について記載しております。
 - * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しくご使用ください。
 - * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



(製品改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございます)

コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

*故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

*調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

■仕様

商 品 名	スキッドリフト 500kg	
品 番	SL-500	
最 大 荷 重 (能力)	500kg	
テ ー ブ ル 寸 法 (天板取付け時)	1115×540mm	
フ ェ ー ク 長 さ (天板取り外し時)	1110mm	
フ ェ ー ク 全 幅 (")	530mm	
フ ェ ー ク 間 (")	205mm	
フ ェ ー ク (爪)・テ ー ブ ル 高 さ	約 89～850mm	
フ ェ ー ク (爪)の厚み	45mm (板厚 4mm)	
本 体 重 量	138kg(テ ー ブ ル 含 む)	
車 輪	爪先	φ 70×68mm (固定)
ウレタン巻車輪(ベアリング入)	ハンドル側	φ150×40mm(自在/ブレーキ付き)

■注意事項

- 屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 最大積載荷重以上は乗せないでください。
- 積荷は、偏荷重や集中荷重にならないように均等に荷積みしてください。
- テーブル面よりも積荷がはみ出さないようにしてください。
- 荷物の積み降ろし時にはキャスターのブレーキを踏み、本機が動かないようにしてからご使用ください。
(駐車時も必ずブレーキをかけてください)
- 傾斜地でのご使用は大変危険ですのでおやめください。
- 移動は必ずキャスターのブレーキを解除し、テーブルを下限まで下げてから行ってください。
- 本機の可動、上昇部分は危険ですから、絶対に手足を入れないよう十分にご注意ください。
- 積荷の急降下を避けるために、下降レバーをゆっくりと握るようにしてください。
- テーブル上面には、絶対に人を乗せないでください。
- メンテナンス時には、積荷を乗せていない状態にしてキャスターのブレーキをしてください。

※テーブルを上昇した状態では絶対に入らないで下さい(大変危険です)※

警告



本機の運行を行う時は、
テーブルを最低高さにすること



テーブルに乗ったり、
脚を掛けたりしないこと



リフト内に手足やものを
絶対に入れないこと

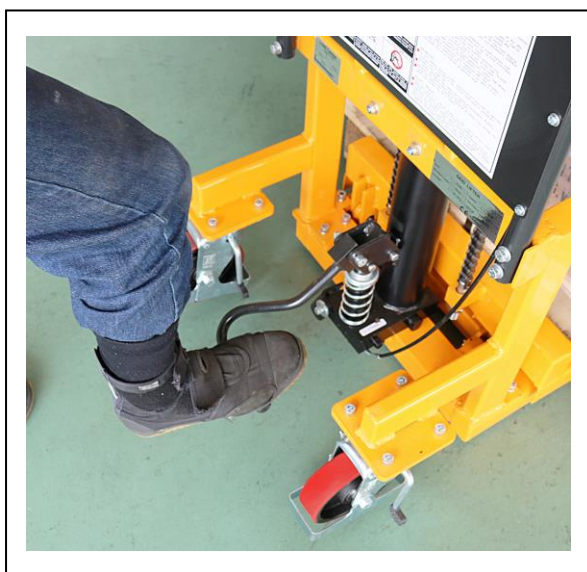


メンテナンス時にストッパーを
設置しないとテーブルが下降し
死亡災害の恐れがあります

■操作方法

【テーブルの上昇】

- フットペダルを踏漕ぎすると上昇します



【テーブルの下降】

- 下降操作レバーをゆっくりと握ると下降します



【下降スピード調整要領】

- 下降操作レバーを握る強さによって下降スピードを調整することができます。
(速すぎる・遅すぎる場合には握る強さをご自身で調整してください。)

■点検・メンテナンス

- 点検は必ず無負荷の状態にしてから、安全に十分注意して行ってください。
- 本機を移動させてみて、車輪の摩擦や異常はないか確認してください。
- キャスターのブレーキを踏んで、作動を確認してください。
- その他のネジの締め付け箇所が緩んでいないか確認してください。
- 可動部分には半年に1度を目安に刷毛等でグリスを塗布してください。
- 異常個所が発見された場合、使用を停止して購入店に連絡してください。
- ポンプオイルの漏れがないか確認してください。

(補給する場合は、ゴムプラグを抜いてプラグ口まで入れてください。)

【オイルのにじみ・自然降下について】

- 油圧式のリフトの場合、圧力のかかるポンプやシリンダーのしゅう動部に微量のオイルのにじみが生じます。
- パッキンの消耗や、ダストの混入によってもシール効果が弱まり、自然降下やオイル漏れが発生します。

✓ 微量のにじみは落下防止対策をしてウエス等で拭きとってください。

✓ ひどいオイル漏れの場合にはシリンダーやポンプを新品に取り換えてください。

【簡単な修理の方法(エア抜き)】

※上昇ペダルを漕いでもテーブルが上昇しないとき

1. 下降操作レバーをいっぱい握り、上昇ペダルを数回(10回ほど)踏み漕ぎする。
2. 下降操作レバーから手を離し、上昇ペダルを踏んでみる

上記工程でテーブルが上昇しない場合は、同じ動作を2~3回繰り返してください。

それでも直らない場合は、別の原因が考えられますので、販売店へお問い合わせください。